



# 川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【2024-25 年度 地区方針】「次世代につなごう！！」

会 長 野口 新二  
副 会 長 萩原 ひとみ  
幹 事 小島 正徳  
S A A 富岡 昭一  
会報委員長 一ノ瀬 仁敏

2024～2025

第 2434 回例会

2025 年 1 月 28 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘  
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10  
ホテル精養軒  
TEL(044)711-8855  
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428  
山協ビル 402 号 TEL(044)722-  
4331 FAX(044)722-6334  
E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp  
URL: <https://www.kawanaka-rc.com>

## 例 会 報 告

開会点鐘	野口 新二会長
司 会	富岡 昭一会場監督
合 唱	ロータリーソング 「我らの生業」

**お客様紹介** 代田 美紀親睦活動委員  
国広 ジョージ様 国士館大学 名誉教授  
(東京恵比寿ロータリークラブ)  
奥山 繁樹様 川崎幸ロータリークラブ

## 今後のプログラム

日 時	プログラム
2/11	休 会
2/18	卓話 東京都市大学 名誉教授 高田 達雄様

## 出席報告

大友 徹出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率
41 名	32 名	9 名 対象外 (2)	82.05%	欠 7 名 対象外 (2)

## 【本日の欠席者】

三木 治一会員 長谷川俊雄会員 渡邊 新治会員  
佐川 陽子会員 細山勝三郎会員 貝田 充 会員  
白井 正男会員 金子 利昭会員 叶野 聡 会員

## ニコニココーナー 一ノ瀬仁敏会場監督(補)

奥山 繁樹様:お世話になります。  
野口 新二会長:卓話楽しみにしております。本日の卓話お忙しいところありがとうございます。  
小島 正徳幹事:今年も早いもので 1 月も終わりとなります。3/24 の地区研修・協議会の準備も進んでおりますので皆様よろしくお願い致します。国士館大学名誉教授国広ジョージ様本日の卓話楽しみにしています。  
川口 禮敬会員:早や、1 月も終わりですね。今日もお世話になります。  
小丸 日出夫会員:国士館大学名誉教授国広ジョージ様、本日の卓話よろしくお願い致します。  
小島 徹会員:国広ジョージ様本日はお忙しい中卓話よろしくお願い致します。  
朝倉 和信会員:よろしくお願い致します。  
富岡 昭一会員:国広ジョージ様本日の卓話宜しく

合計	8 件	9,000 円
累計	335 件	496,000 円

## 会長報告

野口 新二会長

1. <再連絡>地区よりロータリーリーダーシップ(RLI)「卒後コース」開催のお知らせが届いております。日 時:2月16日(日)9:00~15:30 場 所:聖光学院中学校高等学校対象者:RLI 卒後コース 有参加資格者(対象者には連絡済)

## 幹事報告

小島 正徳幹事

1. 例会変更  
川崎マリーン 2/13・27(木) 休会  
川崎高津 2/13(木) 移動例会「社会見学」明治大学 登戸研究所  
2/27(木) 夜間例会  
川崎とどろき 2/10・24(月) 休会
2. 次週 2/4 は例会終了後、理事役員会を開催致します。関係各位の出席をお願い致します。
3. <2月の予定>  
2/4 通常例会 例会終了後、理事役員会  
2/11 休会  
2/18 通常例会  
2/25 休会

## 卓話

演題「ある建築家のゴミとの出会い」



ご紹介: 上原 伸一会員



国士館大学 名誉教授 国広 ジョージ様

### 「ある建築家のゴミとの出会い」

建築家を職業として40数年間、世の中へ新しい建築空間を提案し、そして創造してきました。その活動を支えてきたのは、大学時代に授かった建築設計の教えです。「建築家は各々の設計活動をとおして人間的生に必要な3要素の一つである『住』環境を創造する」という、壮大な理念です。建築家としての職能による創造力、技術力で世界を変えることができます!と信じて仕事に打ち込んできました。しかし、近年の地球温暖化問題によって顕在化された二酸化炭素排出量増大の危機により、世界は持続可能な社会を実現し、健全な地球を次世代へ継承する意識が高まり、気候変動に対するあらゆる手段の提案と実行を余儀なくされました。

このような状況において、私は自問自答を繰り返し、建築行為は原料生産から建設までその負荷が一つの現場を見ても見逃すべきではない数値になることを理解しました。そんな時に「有機物高度利用研究会」のメンバーとして亜臨界水処理技術に出会いました。これは5トンおよび10トンのステンレスタンクに、金属以外のすべての種類のゴミ、そして水(H<sub>2</sub>O)を投入し、高温(200°C)、高圧(20気圧)で1時間置くと、イオン積が増大し、酸やアルカリ触媒の働きにより加水分解反応が発生し、有機物を低分

子化し、たんぱく質をアミノ酸、脂肪を酢酸、炭水化物を糖に分解します。この作用により、ゴミから生まれた残渣が有機物として再利用できるという廃棄物の資源化できるという素晴らしい技術です。その後、2022年にベンチャー事業として法人化し、国内では焼却炉による廃棄物処理から亜臨界水処理によるゴミの資源化への事業として動き出しました。そして、世界のゴミ問題に向けて日本発のCO<sub>2</sub>負荷が殆どない廃棄物の資源化を拡散してゆく使命を担うことで、地球温暖化に対する戦いに参戦しています。今後のALIN(亜臨界水処理システム)の活躍にご期待ください。

## 国広ジョージ [George Kunihiro]

### 建築家

国土舘大学名誉教授

取締役会長：一級建築士事務所（株）ティーライフ環境ラボ

取締役特別顧問：Hau'oli株式会社

顧問：アリンインターナショナル株式会社

顧問：株式会社プランテック

清華大学客員教授（北京）

アメリカ建築家協会フェロー（FAIA）

日本建築家協会フェロー（FJIA）

大韓建築士協会 名誉会員

1951年12月、東京都文京区に生まれる。父は日系二世。母方では、三菱財閥本家で創設者岩崎彌太郎の玄孫。1964年に渡米。1974年にカリフォルニア大学バークレー校環境デザイン学部建築学科を卒業。その後、ハーバード大学大学院にて建築デザインを専攻。同大学院では、近代建築の巨匠ル・コルビジェの門弟であるジョセフ・ザレフレスキー教授や、ボストン市庁舎の設計で名高いゲールハート・コールマン教授などに師事する。そして、1976年に同大学より建築学修士号を取得する。

その後、カリフォルニア州の建築設計事務所で修行を重ね、1980年にサンフランシスコにおいて設計事務所「Interarc」を設立、共同主宰する。1981年には、ロスアンゼルスにてDavid I-Cheng Miと「Mi-Kunihiro Partnership」を設立。さらに1983年にはGeorge Kunihiro Architect」を設立し、国際的な設計活動を始める。その後、1987年にニューヨークに拠点を移し、日本とアメリカで数々のプロジェクトを手がける。一方で、建築家安藤忠雄とともにイエール大学、コロンビア大学、ハーバード大学などの名門校で教鞭を執り、さらにニュージャージー工科大学、キリルメソディウス大学(マケドニア)などから招聘を受け、次世代の建築家育成にも貢献してきた。

1997年1月、21世紀を目前にして、アジア、とりわけ中国の躍進に注目。大きく方向転換することを

決心し、活動拠点を第二の母国日本に拠点を移し、東京にてアジア地域を中心とした活動をスタートする。

1998年には国士舘大学工学部助教授(2003年より教授)に就任、研究活動も開始する。主にアジアにおける近代文化遺産と現代建築の研究に取り組む。2001年にはアジア近代建築ネットワーク(mAAN)に参加し、2012年まで同組織の副会長を務める。その間、中国・陝西省漢中市、浙江省龍泉市、インドネシア・スマトラ島メダン市、インド・チャンディガール市などで調査研究、ワークショップの企画・運営に携わる。

1998年には一級建築士事務所ジョージ国広建築都市研究所を設立し、設計活動を再開する。2013年、グローバルプロトコール研究家加藤淳子とともに株式会社T-Life 環境ラボを設立。「衣食住」と建築設計の領域を超越したトータルな視点から環境の設計・プロデュースを行っている。現在では、活動領域は拡大し日本国内のみならず、中国、インドネシア、シンガポールなどアジア、東南アジア方面でプロジェクトを進めている。この間、日本建築家協会副会長、アジア建築家評議会会長、日本建築学会アジア建築交流委員長、UIA(国際建築家連合)世界建築家会議日本組織委員会広報部長などを歴任、建築設計監理職能、および国際交流に貢献してきた。さらに2013-2014年にはアメリカ建築家協会(AIA)国際理事を務め、2009年には95,000余名の会員中3パーセントに与えられるAIAフェロー(特別会員)の称号を授与された。2022年現在、日本建築家協会フェロー、NAAB(アメリカ建築家登録機構)国際委員などを務めている。

国広は、これまでに世界各地からの招聘で講演を行ってきた。中国、インドネシア、フィリピン、モンゴル、パキスタン、バングラデッシュ、スリランカ、イタリア、キプロス、トルコ、アラブ首長国連邦など多数。また、国内を始めレバノン、メキシコ、バングラデッシュ、香港などで国際コンペの審査員をつとめた。2011年より清華大学建築学院大学院で客員教授として教鞭をとるとともに、アジアを中心に都市計画、建築設計、村落再生などの分野のプロジェクトに関わっている。2012年には浙江省龍泉市長の委嘱により「龍泉国際竹建築ビエンナーレ」のキュレーターを務め、2016年には同建築展にて、宝溪青磁工房を完成させた。

これまで、建築設計の創作活動を中心に行ってきたが、近年では「龍泉国際竹建築ビエンナーレ」を機に、国内外の村落再生に関する調査研究、また途上国を中心に社会で排出される廃棄物の処理と再利用についての研究、さらにシステムの普及で得られる経済発展など社会システムとサステナブルな環境の構築に力を注いでいる。

2022年3月、24年間勤めた国士舘大学を退職した国広は、長年かけて築いた幅広いビジネス・プロフェッショナルネットワークを活用し、不動産や企業資産を求める企業を世界規模でつなぐコンサルティングサービス「Asset Architect」を立ち上げた。アセットアーキテクトは、T-Life Kankyo Lab. とともに、国内外のクライアントにサービスを提供するための強力なプラットフォームを備えている。

さらに、国広は廃棄物をエネルギー資源や農業用有機肥料に変換するシステムの世界的普及を目指す「ALIN International Inc.」のアドバイザー、新規ベンチャー企業である株式会社ハウオリの取締役特別顧問に就任し、ラグジュアリーリゾートとコミュニティのコンテンツ構築を担当している。ここでは、建築文化に精通し、グローバルなネットワークを持つ国広の手腕が試される。また、バイク文化を愛する会員同士のネットワークを通じて世界平和を目指す「Motorcycle Culuturati Club」の立ち上げにも参画している。2023年7月、コペンハーゲンで開催された国際建築家連合(UIA)世界大会において、同連合のアジア・太平洋地域を代表する評議員(任期は2026年まで)に選出された。

2024年5月には新著書「教養としての西洋建築」が祥伝社より出版され、一般向けの教養書として注目されている。

**【受賞】** 第11回SDレビュー入選(1992), 日本商環境デザイン部門第3部入選(1993), 現代日本の建築家優秀建築選 2 @ 5 [D 邸] (2008), メキシコ建築家協会会長賞(2010), アメリカ建築家協会会長賞(2011), Final Four of 274, Obel Award (2019)

**【主な作品】**  
ラ・プティートチャヤ(1983), チネチッタ川

崎(1987), ビラ・ローザ(1990), コミュニケ  
ートサルーン・ピア(1992), S邸(1991),  
CoCos 信岡大阪支店(1994), レストラン・  
マリリン(1996)、大勝院庫裏 (1999) , グ  
ランブルー六本木ワインアンドダイニング  
(2000), 田無市消防団第7分団詰所(2000)、  
ブルー青山ビル(2000年), 沖縄Sリゾート  
プロジェクト(2005) 畑を望む家[N 邸]  
(2003), 2 @ 5 [D 邸](2006), 鎌倉M 邸  
(2008), 二河四岸都市開発計画(2010)[中  
国], 貴州省リゾート計画(2014) [中国], [中  
国], 宝溪青磁工房(2016)[中国・浙江省]など。

#### 【略歴】

1951 東京生まれ (米国籍)  
1964 渡米  
1974 カリフォルニア大学バークレー校環境デザ  
イン学部卒業  
1976 ハーバード大学大学院デザインスクール  
修了  
1983 George Kunihiro Architect (Los Angeles)  
開設  
1987 同事務所をニューヨークにて開設  
1987 イェール大学客員クリティック  
1988-91 ニュージャージー工科大学非常勤助講師  
1988 コロンビア大学客員助教授  
1990 ハーバード大学客員クリティック  
1997 アメリカより活動拠点を日本に移す。  
1998 ジョージ州広建築都市研究所設立(東京)  
1998 国土館大学工学部助教授  
2010 東京大学工学研究科博士課程満期退学  
2003 国土館大学工学部教授 (2007年理工学部)  
2004 町田市建築紛争調停委員 (2004-2013)  
2006 日本建築家協会(JIA)副会長  
「UIA2011東京」第24回世界建築会議  
日本組織委員会(2011-2016)  
2008 アメリカ建築家協会 (AIA) フェロー会員  
2010 アルカシア (アジア建築家評議会) 会長  
2011 清華大学客員教授 (~現在)  
2013 アメリカ建築家協会 (AIA) 国際理事  
(2013-2015)

2013 龍泉国際竹建築ビエンナーレ (中国浙江省)  
コミッショナー

2016 アメリカ建築家協会日本支部会長、  
国際地域理事 (AIA)

2017-18 アルカシア (アジア建築家評議会)  
会長顧問

2019-21 明治大学特別招聘教授

2020-21 京都美術工芸大学客員教授

2020-22 University of Saint Joseph (マカオ)  
客員教授

2021-22 アメリカ建築家協会日本支部理事

2022-23 アルカシア (アジア建築家評議会)  
会長顧問

2022 アリンインターナショナル株式会社  
顧問

2022. 国土館大学名誉教授

2022 第5回日本-リトアニア国際建築交流  
イベント

(East-East 5) 総合ディレクター

2023 アセット・アーキテクト代表

2023 Hau'oli株式会社 取締役・名誉顧問

2023-26 国際建築家連合(UIA)第4 リージョン評議員

2024 株式会社プランテック 顧問

#### 【連絡先】

[ティーライフ環境ラボ本社]

〒542-0086

大阪府大阪市中央区西心斎橋2-1-13

福井ビル6階

Tel: 06-6213-8781 Fax: (06) 6213-8782

Info@tlife-elab.com

[アセット・アーキテクト]

[ティーライフ環境ラボ] 川崎事務所

〒221-0016

神奈川県川崎市中原区市ノ坪88

グリユックF88 101号室

Tel: (044) 872-8680 Fax: (044) 872-8681

[kunihiro@assetarchitect.net](mailto:kunihiro@assetarchitect.net)

[gkunihiro@tlife-elab.com](mailto:gkunihiro@tlife-elab.com)